

令和3年度 社会福祉法人大槌町社会福祉協議会事業報告

① 地域交流用具等の貸出し

地域住民の交流や、自治会・町内会の立ち上げに資するため、地域交流用具等の貸し出しを行いました。

主な貸出し物品：テント、長机、パイプイス、キャンプ机、キャンプイス等

貸出し件数：40件

内訳	件数	内訳	件数
自治会	3件	福祉施設	2件
NPO・ボランティア団体	2件	郷土芸能団体	1件
一般社団法人	7件	住民有志	4件
企業	4件	お茶っこの会	3件
学校・公民館	2件	町役場	6件
協会関係	6件		

① キャップハンディ体験教室

(1) 文化交流センターおしゃっち・図書館職員

- ・日時：令和3年6月1日（火）午前9時30分～11時
- ・内容：災害や緊急時を想定した、車いすの操作・移乗体験
- ・対象：おしゃっち・図書館職員、大槌町協働地域づくり推進課職員 計15名
- ・協力：キャップハンディサポーター 2名

(2) 大槌学園（8年生）

- ・日時：令和3年10月19日（火）午前9時～11時35分
- ・内容：車いす体験、白杖・ガイドヘルプ体験、高齢者擬似体験
- ・対象：大槌学園8年生 69名
- ・協力：キャップハンディサポーター 5名

(3) 大槌学園（4年生）

- ・日時：令和3年11月26日（金）午前10時45分～午後0時20分
 - ・内容：車いす体験
 - ・対象：大槌学園4年生62名 ※2クラス
 - ・協力：キャップハンディ体験サポーター 5人
- ※新型コロナウイルス感染症対策のため、1クラス毎に体験指導を行った。
 ※パラリンピック競技であるバスケットボールを取り入れた体験を実施

②町内学校における防災学習の体験指導

吉里吉里学園での防災学習

吉里吉里学園より、防災に係る学習支援の依頼を受け、対応しました。

- ・日 時：令和3年10月28日（木）午後2時05分～午後0時35分
- ・場 所：吉里吉里学園小学部
- ・対 象：吉里吉里学園4年生 6名、教職員10名(担当教諭1名、学園長、他教諭8名)
- ・内 容：クロスロードゲームを体験し、緊急時における瞬時の判断の必要性について体験する。

③大槌学園での防災学習

大槌学園より、防災に係る学習支援の依頼を受け、対応しました。

(1) 避難所運営体験（事前学習）

- ・日 時：令和3年9月7日（火）午前10時45分～午後0時35分
- ・場 所：大槌学園 ランチルーム
- ・対 象：大槌学園9年生 75名、教職員5名
- ・内 容：避難所運営ゲーム（HUG）を使用し、机上で避難所運営の模擬体験を行う。

(2) 避難所運営体験（本番）

- ・日 時：令和3年11月17日（水）午前8時30分～12時45分
- ・場 所：大槌学園 第1体育館 ※その他…炊き出し訓練（調理室）
- ・参加者：大槌学園+地区協力者+関係者 計198名
(内訳) 大槌学園 計149名(9年生75名、8年生69名、教職員5名)
地域住民・団体 計46名(沢山・大ヶ口・県営屋敷前AP自治会、連合婦人会、
大槌町赤十字奉仕団、更生保護女性の会、子どもセンター、おらが大槌夢広場)
オブザーバー 計3名…大槌町(大槌町 防災対策課1名、学務課1名、県社協1名)
実施協力 計8名(大槌町 防災対策課3名、健康長寿課1名、協働地域づくり推進課1名)
本会ボラセン職員3名
- ・本会の役割：
 - ・避難所班における全体進行の補助
 - ・地域住民と学園生徒のつなぎ役、役割説明・質疑応答

③大槌高校での防災学習

大槌高校より、防災に係る学習支援の依頼を受け、対応しました。

(1) 避難所運営ゲーム

- ・日 時：令和3年6月30日（木）午後4時～5時
- ・会 場：大槌高校
- ・参加者：計23人 内訳…大槌高校生(1～3年生)18人、教職員10人、役場職員5人
- ・内 容：「避難所運営ゲーム（HUG）」を用いて、災害が発生し大槌高校の体育館に住民が避難してきたと想定。避難者の状況に応じ、避難スペースの確保などについてグループ毎に意見

を出し合う。

(2) 防災セミナー

- ・日 時：令和3年9月28日（火）午後3時50分～5時
- ・場 所：大槌学園3階視聴覚室 ・参加者：高校生19名、教職員3名
- ・講 師：①大槌町防災対策課 職員1名（他2名）、②本会ボラセン職員2名
- ・内 容：①座学：大雨被害について、②体験：クロスロードゲーム

◇ボランティアの活動支援と育成

⑤ 町民ボランティア登録者数

雪かき：30人

レクリエーション兼キャップハンディサポーター：16人

⑥ ボランティアの活動支援

令和3年度ボランティア受入数 13団体 93人

内容	人数	内容	人数
住民交流イベント	19人	屋外清掃	19人
草刈り	18人	体験学習補助	27人
花壇整備	10人		

⑦ ボランティア保険加入促進

保険種類		令和3年度		令和2年度	
ボランティア 活動保険	基本プラン	19件	416人	基本プラン	16件 463人
	天災・地震 補償プラン	1件	4人	天災・地震 補償プラン	1件 5人
ボランティア 行事保険	A1プラン	65件	2,851人	A1プラン	43件 2,195人
	A2プラン	1件	300人	A2プラン	2件 220人
	Bプラン	0件	0名	Bプラン	1件 4人
	Cプラン	5件	110名		
福祉サービス総合補償		3件	76人		2件 105人
送迎サービス補償		0件	0人		1件 8人

◇ボランティア団体の連絡協議会の運営支援

⑧ 大槌町NPO・ボランティア団体連絡協議会の運営

- ・参加団体数：13団体
- ・総 会：1回
- ・会 議：3回（3.11実行委員会）
- ・イベント等：2回

実施日	内容	会場
R4. 1. 23	メッセージ作成会	文化交流センターおしゃっち 1階
R4. 3. 11	3.11 集い～灯火～ (プラコップ灯ろうとメッセージ展示)	文化交流センターおしゃっち 1階 御社地 池

◇福祉・介護の担い手の育成と確保

⑨ ボランティア研修会の開催

「ボランティア倶楽部」の名称で町民を対象とした研修会を開催しました。

開催日	研修内容
R3. 11. 3	<p>「レクリエーション・キャップハンディ体験サポーター講習」</p> <p>○体験：①キャップハンディサポーター講習 ・車いすの自走・介助体験、白杖体験 ②レクリエーション体験・サポーター講習 ・レクリエーションの内容について（情報提供・共有） ・レクリエーション用具を使ったゲーム体験 （ポケネット、カラーボーリング、闘球盤）</p> <p>○講師：本会職員 ○対象：中学生以上 ○場所：安渡公民館 体育館 ○参加人数：23人 内訳：ボラ連会員 15人、老人クラブ 3人、町内自治会(安渡、沢山)3人、学校関係者 2人、大槌学園生徒 1人、ふるさと応援アドバイザー 1人 ○ボランティア登録：新規 9名、継続 7名</p>
R4. 2. 11	<p>「防災ボランティア研修会」</p> <p>○座学：～誰でもできる地域防災～ ○体験：①災害図上訓練 DIG の体験 ②炊き出し袋を使用した、について（説明と配布）</p> <p>○講師：①座学・体験…町防災対策課職員 2人、本会職員 ②炊き出し…大槌町赤十字奉仕団 4人 ○対象：迫又地区住民 ○場所：大槌町文化交流センターおしゃっち 多目的ホール ○参加人数：18人（迫又地区住民 9人、9人）</p>

※「憩いの場づくり」（7月実施予定）は、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

基本目標 3 地域福祉の要となるネットワークと連携体制づくり。

◇情報保持・共有体制の確立

① 広報等による情報発信

町民へ社協の事業や様々な福祉情報を知ってもらうため広報を発行しました。

- ・広報の配布実績

配布物	発行回数	発行部数（1回）	配布先
社協会報	3回（7・11・3月）	5,000部	全戸
社協だより	3回（6・9・1月）	5,000部	全戸
おれんじ通信	12回（毎月25日）	4月～10月1,500部 11月～3月1,300部	仮設住宅・公営住宅
おひさま便り	3回（4・8・12月）	200部	利用者・関係者
和野っこハウスだより	11回（毎月20日）	100部	掲示板・仮設住宅
ワークフォローだより	1回（3月）	50部	利用者・関係者

④ 買物・見守り支援の実施（あんしん助っ人便）

一人暮らし高齢者世帯や身体障がい者世帯等の買い物困難世帯を対象に、買い物代行サービスを実施しました。

登録者	実利用者数	注文件数
10名	3名	10件